

第12期 松戸市緑推進委員会
第9回 委員会

1. 日時 令和6年3月26日(火) 14:00~16:00
2. 場所 松戸市役所 市民サロン (新館5階)
3. 出席者

○緑推進委員

柳井重人・木下 剛・小谷幸司・平岡 考・河合直志・石川静枝・藤田博美・藤田 隆・
上野義介・榎谷有三・並木能子・河野芳久・増木宏行

○松戸市

保木正継 (街づくり部審議監)
布施 優 (公園緑地課課長)
若林 稔 (21世紀の森と広場管理事務所補佐)
高橋博巳 (公園緑地課 主査)
田辺久人 (みどりと花の基金事務局長)

○兼事務局(みどりと花の課)

三末容央(課長)・木村高德(補佐)・木原 茂(補佐)・中山 茜(主査)・今井涼太(主事)・
岩田 昇(主査)

○傍聴 2名

事務局より本委員会の成立について、委員人15名中13名の出席により成立している旨報告あり。

4. 議事次第

1 開会

2 議事

- 1) 議事要録の確認
- 2) みどりのシティープロモーションについて
- 3) 緑と花のフェスティバル2024の参加について
- 4) 提言及び活動報告について
- 5) 第12回オープンフォレスト in 松戸の後援について
- 6) みらいフェスタ参加見送りについて

3連絡事項

4閉会

議事1) 議事要録の確認について

会長

事前に送付した第7回、第8回委員会の議事要録について異議はあるか。
無ければこれを以て議事要録とする。

——承認——

議事2) みどりのシティープロモーションについて

会長

議事2 みどりのシティープロモーションについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

まずお手元の資料を確認したいと思います。

資料1としてスケジュールと審議の項目。

資料2として、メッセージブック。

資料3として、A4のメッセージアンケート。

資料4として、緑のフェスティバル2023チラシ。

資料5として、第十二期松戸市及び推進委員会、提言及び活動報告について。

資料6として、第12回オープンフォレストin松戸チラシ。

追加資料として、第36回全国みどりの愛護のつどい

以上が本日の配付資料になります。

資料2のメッセージブックのプロトタイプをご覧ください。

今回このプロトタイプの編集作業には編集作業について、ご尽力いただいております。

その他にも、市民の方でデザインのスキルを持っている方とか、写真を撮ってる方とかのご協力を得てこの冊子を作っております。

プロトタイプの作成の過程で、様々な問題点などが浮かび上がってきましたので、その点につきましては編集方針の方に反映させていきたいと考えております。

詳細については事務局より説明いたします。

事務局

資料のメッセージブックをご覧ください。

メッセージブックは1500部発刊して、4月29日の緑のフェスティバル2024での配布と、アンケートの実施を予定しております。

こちらの松戸市のホームページにも掲載いたします。

お手元にありますのは、メッセージブックプロトタイプの初稿となります。

記事の差し替え等の大きな変更は難しいですが、順番や写真の変更等は、ある程度は可能かと思っておりますので、ご意見を賜りたいと思います。

まずこちらの形態ですが、A5サイズ20ページの冊子となっています。印刷の関係で4の倍数のページで作っております。

ページ番号が入っていないので見づらいかと思いますが、校正にてページはふらせていただきます。

また、全体を通して写真を多用しております。

今回、サロン部会の皆様にご協力いただきまして、記事の作成・編集を進め、ラフ案を作成し、それを元に編集デザインは外注しております。

表紙につきまして、まず前回のご指摘から、春めいたデザインを意識したものに變更しております。

す。

1ページ目を開いていただきますと、メッセージブックの説明になっています。

前回の委員会にて、目的は後に持ってきたほうがいいとのご指摘をいただき、ラフ案の段階では、目次のページとさせていただいたんですが、編集外注の段階で目次が最終ページに移動しております。こちらについては変更が可能です。

次のページはヒマラヤスギの写真から始まるものですが、これは草花あそびの研究をやっている松戸市在住のNew草花研究所長の相澤悦子先生という方に取材をさせていただきました。

まず、幼稚園児の親子と市内の公園に行きまして、草花遊びを行った体験記から始まっています。前回ご指摘いただきました、みどりのライフスタイルを実現する7つのアイコンを、この記事の上部に掲載しています。こちらのアイコンについては後程説明させていただきます。

この体験記は4ページ続いているんですが、4ページ目最後のところに、この体験者のお母さんの感想を掲載しています。

続きまして、New草花あそび研究所 相澤所長へのインタビュー記事です。

相澤先生の活動のきっかけから作品やお仕事、面白話、そして読み手へのメッセージとなっています。

次のページは、4種類の草花あそび紹介ページです。手軽にできる春から初夏にかけての草花あそびも紹介しています。

次にエディブルウェイの記事となります。こちらについては、エディブルウェイプロジェクトが一般になじみのない活動かと思しますので、先に活動の説明を入れています。そこからエディブルウェイプロジェクトメンバーのインタビュー記事、手軽にできる栽培やハーブの使い方の紹介となります。

次に松戸みどりの市民憲章・松戸市みどりの基本計画の紹介に続きます。あまり市民になじみがないものだと思いますので、説明を加えています。

次にみどりのライフスタイルのアイコン、目次ページとなります。アイコンにつきましては前回SDGsに似ているとのご指摘をいただき、変更したところですが、次年度アイコンを再度作成する予定ですので、今年度はあえて文字としました。色味がまだSDGsっぽいので、色味を校正にて調整します。

アイコンと記事の内容のリンクがわかるよう、目次にアイコンを入れています。各記事に係わるアイコンをすべて掲載することで、みどりに係わる活動が多面的な活動であることが伝わるのではないかと思います。アイコンに大小をつけたほうが良いとのご指摘がありましたが、同様の目的から並列としています。

裏表紙には、アンケートのQRコードを掲載し、WEB上で回答できるようにします。

資料のアンケート案をご覧ください。

みどりのメッセージブックのアンケートです。緑と花のフェスティバルで配布する際に、イベント時は紙ベースもご用意します。WEBでは、ちば電子サービスを使用してアンケートします。

ちば電子サービスは、千葉県と市町村が共同で運営している申請や届出のできるサービスですが、利用者登録が不要なので、比較的簡単に回答することができると思います。

アンケート項目数は9問に絞っています。事前にサロン部会の方と相談させていただきながら、内

容も絞らせていただいて簡易な設問としています。

まず、今回はペルソナを設定していますので、ペルソナ世代の手にメッセージブックが渡ったか、判断指標とするため、回答者の属性を回答いただきます。

次にメッセージブックへの質問となります。

以上です。

会長

メッセージブックに関しては、かなり長い間、検討してきた経緯があります。

もともとはみどりの基本計画ができて、それをどうやって市民に伝えていくかというのを考えたときに、よくやるのは概要版を作るというのがあるんですけど、それだとあんまり面白くない。みんな読まないだろう。ということで、メッセージブックを作っています。みどりと暮らすとか、みどりと暮らす豊かさを大切にしようとか、そういうのが松戸みどりの市民憲章やみどりの基本計画の根本になっていますので、そういったところを伝えたいということで、これをずっと検討してきた経緯があります。

プロトタイプが完成したということで、アンケートもやるということでございます。

これについてご意見いただければと思います。

これは年度内修正ということでしょうか。

事務局

はい。年度内でお願いします。

会長

この場でお気づきの点を言っていただければと思うのと、デザインをやる人が入っているので、全体のバランスから、意見が確実に反映されるかは分かりませんが、ぜひお気づきの点を言っていただければと思います。

配り方やアンケートについてもお願いします。

委員

相澤先生の部分が大きすぎると思います。インタビュー記事が数ページあって、プロフィールにもページを使う。特定の人を大きく取り上げるのはいかがなものかなというのが私の意見です。それから、「松戸みどりの市民憲章」のところに制定されたのが平成16年10月1日となっていますが、西暦を記載していただくと「松戸市は以前からこういうものを制定してたんだな」というのがすぐ分かってもらえると思います。平成16年っていうと今から何年前だったのかな、とすぐに考えつかないと思います。

委員

このアンケートの狙いというか、目的は何でしょうか。

たくさんの質問項目がありますけれども、何をするためのものになるのでしょうか。

事務局

アンケートについて、4番の「挑戦してみたいことがあった。」の項目ですが、こちらはメッセージブックの評価になると思っています。「みどりのあるライフスタイル」の提案ができたというところに繋がると考えていますので、聞きたいと思っています。

5番の「生活の中でみどりに触れ合ったり、みどりを楽しむ機会があるか」というところは、この指数が今の段階でどれくらいあるのかというところが、みどりの基本計画が目指す「みどりのあるライフスタイルを楽しむ」の現況把握になると考え、聞きたいと思っています。

会長

アンケートについて、もっとこうした方がいいとかってというのがあればお願いします。

委員

今回アンケートを取って、今度またメッセージブックを作りますよね。ですので、そういったことに向けて手を打っておくのは、いいのではないかと思います。

事務局

こちらのアンケートの結果を、編集方針にフィードバックしていきたいと思っています。

会長

写真が多いとか文字が多いとか、そういうことを入れたほうがいいとか、いかがですか。

委員

柔らかくて手に取りやすいような感じの冊子に仕上がっていると思いますが、さらに発展させるために市民の方の意見を聞いて、反映できるところがあればと思います。私自身はすごく見やすくできていると感じています。

委員

アンケートの性別のところ「答えたくない」というのはいかがなんでしょうか。ちょっと他にいい言葉が浮かばないんですけども、もう少し違う表現の方がいいと思います。

事務局

松戸市の方でLGBTとか、そういったところへの配慮の指針（松戸市職員・教職員のための多様な性に関する対応ガイドライン）がございまして、その中でアンケートの目的上、性別を聞く必要がある場合には、配慮するというものがあります。そのために作った選択項目でしたが、表現に配慮したいと思います。

小谷委員

「その他」という選択肢が良いのではないのでしょうか。

事務局

ありがとうございます。変更します。

委員

ペルソナを設定する時に家族構成も考えたと思いますが、その中でお子さんの年齢が想定されていたかと思います。このアンケートでそれが取れないと、私たちが伝えたい世代が手に取ったか分からないので、このメッセージブックの評価がぼやけてくるかなと思います。追加ができるようであれば、お子さんの年齢に関しての設問について追加をお願いしたいと思います。

委員

私も同じ考えで、これはペルソナまで設定して作成したので、属性とかをもう少し厚くしてもいいのかなと思います。

例えば未婚既婚とか、同居している子供の有無、そのお子さんのこととか、あと2つ3つ追加した方が良いと思います。

それによって、今回ペルソナに設定した項目がある程度見えてくるとと思いますので、これがマッチしているか、ターゲットに刺さっているかも見えてくるし、新しいニーズを掘り起こし、次このブックをどのペルソナ向けに作るのかっていうところも見えてくるとと思います。設問が多すぎるのもダメだと思うので、バランスも考えながら作る必要があると思います。

それと関連して選択肢なんですけど、例えば5番の「楽しむ機会がありますか」、7番「緑の市民憲章を知っていましたか」、8番「みどりの基本計画を知っていましたか」の【どちらともいえない】が気になります。どこまで突っ込むかなんですけど、これは「中身も知ってる」という場合と、「聞いたことある」というぐらいの場合とあると思いますので、もう少し尺度的なニュアンスも聞いた方が、みどりへの関心度が図れるかなと思います。「どちらとも言えない」のような抽象的なものではなく、「どの程度知っているか」が分かる選択肢の方がいいかと思います。

会長

私も同じようなこと感じました。

委員

松戸市に在住か、そうではないのか、この後半の質問は引っかかってくると思います。緑と花のフェスティバルが最初のスタートだと思いますので、市外から参加される方も多いと思います。属性に関する部分がもう少し厚くなるといいと思いました。

委員

とても易しく可愛い感じで出来ており素敵な雰囲気だと思うのですが、一通り見て感じたことは、「〇ページから〇ページまでがこのような内容です」とか、「～～について書いてある」というような記事のまとまりが分かりにくいと感じました。

例えば、6ページにある記事の冒頭のタイトルを大きくして、一つのまとまりであることを分かりやすくする。そのあとにインタビューの記事があり、「星を作ってみよう」の記事を掲載したほ

うが良いと思いました。

あまりメリハリをつけると易しい雰囲気なくなるかもしれませんので、難しいところだと思います。

あと、最後の奥付にはタイトルを入れると奥付らしくなるかと思います。

委員

細かい話になりますが、「松葉で星を作ってみよう」の注意書きの箇所についてになります。

今回のインタビューを公園で行っているので、公園での注意事項となっていると思いますが、「公園での植物採取」に限定しない方がいいように感じます。「どこかの家の庭などの私有地に勝手に入らないように」とか、「所有者の許可なく採取しないように」といった視点での注意もあった方がいいのではないかと思います。

委員

表紙を入れて4枚目についてです。

右上にメタセコイアの実の写真がありますが、これはモミジバフウだと思います。

こちらの「みどりのメッセージブック」は市のウェブサイトからダウンロードできますか。

事務局

ホームページで掲載予定です。

委員

であればこの奥付にそのQRコードを付けると分かりやすいと感じました。

事務局

この冊子のデータに飛ぶQRコードでしょうか。

委員

このメッセージブックが「友人が持っていた魅力的な冊子」というケースもあるかと思いますが、QRコードがあった方がいいかなと思います。

事務局

そのQRコードにアクセスした際に、直接PDFが表示されるのか、ホームページが表示されてそこからPDFへアクセスしてもらうのか、どちらがいいでしょうか。

委員

直接PDFデータだと分かりやすいけど重いかもしれないですね。判断がむずかしいです。

事務局

どちらにも対応できるようにしておきます。

委員

今度の緑と花のフェスティバルでは、この状態で1500部を来場者へ配布するのでしょうか。

事務局

はい。印刷会社へ注文するので、しっかりした紙質になるかと思います。

委員

1500部作って、そのうちいくつかを配布するという形になるのでしょうか。

事務局

まだ未定です。

委員

先ほどのQRコードの話聞いていたら、イベント等では冊子ではなく、表紙とQRコードが記載された1枚の紙を用意しておくのもいいのではないかと思います。イベントごとに冊子を用意するのではなく、その紙を用意してQRコードを読み取ることでコストカットにも繋がると思います。

先ほどの平岡委員と同様の意見になりますが、中身はとてもいいコンテンツだと思いますが、写真が緑・植物なので、どこで一区切りなのか分かりにくいです。例えば、上側に帯をつけたりして、切れ目のメリハリがあるほうが分かりやすいと思います。

委員

これを読んで「行ってみようかな」と思った際に、すぐ行動に移せるように自分の身近な公園がどこにあるか分かるようなマップのQRコードがあるといいと思います。

委員

「大きなヒマラヤスギの木の下で」という記事についてです。

ここに実際に行きたいと思った人がいたとして、記事内に横須賀中央公園と小さく書かれているので分かると思いますが、ネットで「その地点をクリックするとどんなところか分かる」「こんなところ、をクリックすると場所が分かる」ようになれば、とても便利だと思います。

そこまでの機能的なものは望まないにしても、全体で使えるようなものがあると、これを手にした人が興味を持ってくれて次の行動に繋がると思います。

会長

2つの意見は「場所とのつながり」という点で共通していると思います。

残された時間で出来ることは限られていると思いますが、そのような意見がありましたので、投げかけてもらえればと思います。今回できないことは次回以降バージョンアップしていく過程で方法を考えていければと思います。

冊子だけ発行して終わりではなく、QRコードなどを用いてWebとリンクすることで、様々なことができると皆さんのご意見を聞いていて感じました。

今回できないことも、このような意見が出たことから編集方針にその視点を取り入れておくべきだと思いました。

委員

子育て世代向けの「松戸で子育て」というページが独立しており、市内の公園の場所を一覧でクリックできるようになっています。そのページに飛ばすだけでもいいかと思います。

写真つきで公園の様子がわかるようになっていて、元々存在するページであるため、そことリンクさせるのが簡単でいいと思います。

委員

松戸市の子育ての部署が運営しているLINEがありますが、そこにもつながるといいと思います。エディブルウェイの部分に縦線が引いてあります。別の記事という意味で引いてあるかと思いますが、線があるとその箇所のみコラムというように感じます。

縦線ではなく横線で帯を付けて、色違いにして章を分けるような感じがいいと思います。

会長

今回は試作品で今年度作成し、緑と花のフェスティバルで配布、広報していくと思いますが、2024年度の予定としては、もう1冊発行するのでしょうか。

事務局

今回作成するにあたり、市民の方から様々なご協力をいただいたので、そのご縁を大切に引き続き作っていきたいと思います。

会長

2024年度に2つ出るということでしょうか。

事務局

発行時期は未定ですが、基本的に1年に1冊となります。

会長

みどりのメッセージブック編集部となっていますが、緑推進委員会、サロン部会、事務局、で一生懸命考えていただいて、試行錯誤しながら作っている。デザインとか編集とか、委員ははじめスキルのある方にお願いしてやってもらっています。そういう体制が持続的に取っていければいいと思いますので、今回試作して、やり切って燃え尽きちゃうということではなく、持続していくということが大切になってきます。

紙媒体のまま持続するのかWebになるのか分からないですが、その辺は考えていかなきゃいけないと思います。

今のところ持続性に関して課題がありますか。

事務局

今回の発刊で区切りになりますので、ここで緑推進委員会からは一旦切り離して、こちらの編集に関わってくれた方を呼んで、次の話を進めていこうと考えています。今回やってみて、1年ぐらいの単位で考えないと季節感が難しいと感じました。春に発行するのに秋っぽいものになってしまったりします。その辺の年間のスケジュールはもう1回見直す必要がある。

編集作業にあたり、市民の方に手伝ってもらいましたが、そこから人の輪を広げて、そこで動かしていったら何か問題があれば、こちらに報告という形で進めていきたいなと考えてます。

会長

私は賛成です。他に何か進め方を含めございますか。

今日いただいた意見を、事務局と編集部の方にお渡しして、プロトタイプとして1500部印刷します。それを緑と花のフェスティバルで配ることと、Webでの展開を考える。

WebについてはQRコードとか、いろんなアイデア出たと思うので、なるべくいろんな人たちに伝わるように出来ればと思います。

緑と花のフェスティバルでの配布時のアンケートでは「どちらとも言えない」という表現や、「好感持てましたか」というのでも、よく5段階とかでやりますので、もうちょっと細かくてもいいかと思います。次に繋がるように属性についての部分を膨らませるってところはよろしく願いいたします。

間に合わないと思いますが、緑と花のフェスティバルの広報の端にメッセージブックができたことを一文加えられるといいかもしれないですね。

これまで結構な時間をかけてやってきましたが、ようやく成果物として冊子ができます。どうもありがとうございました。

議事3) 緑と花のフェスティバル2024の参加について

会長

事務局の方からご説明お願いいたします。

事務局

資料4をご覧ください。

昨年度のチラシになりますが、今年も緑と花のフェスティバルを開催する予定となっております。開催日につきましては、4月29日の午前9時30分から午後3時まで、場所は21世紀の森と広場の集いの広場で開催します。

開催の規模につきましても、昨年度と同じぐらいと聞いておりますので、参加団体数は約45団体前後、飲食物が10団体から15団体ぐらいになると思います。

昨年度の緑推進委員会は、ローズマリーやゲッケイジュ、クスノキ、ヒノキ、などを用意してに

おいを感じてもらったり、触っていただいたりして、直に緑を感じてもらう内容で出展いたしました。

直においを嗅げたことなど、市民の方からいろんな感想をいただきまして、好評でした。

本日は、緑と花のフェスティバルへの参加や参加方法についてご審議いただきたいと考えております。

会長

緑と花のフェスティバル自体何回目ですか。

みどりと花の基金

32回になると思います。平成2年からですが、何回か東日本大震災や新型コロナなどで中止しています。

会長

緑と花のフェスティバルは松戸のみどりの関係の認知度が高い方だと思う。

緑推進委員会がこれに参加し始めたのは、市民憲章をつくる頃からなので平成16年くらいからですから、20年近く前から緑推進委員会として参加しています。なぜそれに参加し始めたかという、みどりの市民憲章に対する意見を聞いたり、関心を持ってもらおうということでした。

具体的には、スタンプラリーをずっとやってきました。その年によって数は違いますけど、緑に関する展示とかアクティビティをやっているところに行ってもらって、コースを作ったり、ポイントを作って、そこでいろんな経験をしてハンコを押してもらって、いっぱいハンコもらって帰ってくると、引き換えにいろんなものをお渡しするというような形を続けて参りました。

準備が大変であったり、里やま応援団の方にご協力いただいたり、結構大変なことをずっと続けてきたわけですが、昨年方向性を変えています。先ほど説明がありましたけど、葉っぱとか植物に触れるというような直接みどりに触れ合うプログラムに変えたということでございます。

そういう中で、今年のフェスティバルをどうするかということ。

特に今回、メッセージブックを作成して、早速それをお披露目する機会となります。そんなお披露目するチャンスなので、緑推進委員会としても参加できればなというふうに考えています。

その辺りで、皆様のご意見を伺いたと思います。

自分のブースがあるとそっちに行ったりして皆さん忙しくて、掛け持ちになってしまったりするので、運営はみどりと花の課にサポートしてもらう形になっています。

委員

この日、冊子に出ている方に来ていただいて、簡単な実演みたいなことをやっていただくのはいかがでしょう。

会長

このメッセージブックの内容とリンクさせた出展内容にするということですね。

エディブルウェイとうちの研究室とで出展しますので、ブースが隣とかであれば可能かと思います。

確かにこの人がこういうのをやってるというデモンストレーションがあるといいですね。具体的に分かりやすいと思います。

委員

いろんな公園で素材がいっぱいあると思うので、素材をいっぱい置いて大人も子供も自由にそれを触れるような、アイテムだけ置いておくようなブースでもいいのかなとも思います。

会長

草花あそび的なものとエディブルウェイの紹介がセットになっているようなイメージですね。

あと去年、においかいだりするのも好評だしエディブルウェイに近いところがあります。

事務局

去年の出展内容で、「みどりに触れる」の中でも人気のものと不人気のものがあって、木材にネジを打ったりするのは人気がなかった。

そちらの方は今年はやらないで、においとか触ったりというのは、もう少し充実させて考えるようにします。

先ほどの先生を呼ぶということについて、呼べるか呼べないかというのは今後の先生とのスケジュール調整になるかと思いますが、今回はブースの裏に生えている草花とかを使って、ここに紹介していること以外にもたくさんのができますので、それを子供たちと一緒に楽しむようなコンテンツもやろうかなと事務局の方では考えています。

会長

この草花あそびっていろんな種類があるし、自由にみんな作れるところもあるし、先生のスケジュールが合わなくて来ていただけないとなっても成立しそうではあります。

それでは、メッセージブックのお披露目ということと、それに合わせて、ここに書いてあるようなことが、体験できたり見ることができたりするというような形で参加するということでしょうか。

——承認——

では参加ということで準備の方をよろしくお願いします。

今出てきたような草花あそびとかエディブルウェイの紹介とか、においを嗅ぐとかの他に、参加してくださった人には、このメッセージブックをお配りして、アンケートをその場でお願いするということでしょうか。

事務局

アンケートについては、その場でお答えできる人には答えさせていただきますが、忙しい人についてはQRコードで後から出させていただきます。

会長

「こんなことを知りたい」などの、次の企画に活かせるようなことをアンケートで聞けるといいですね。

今後の段取りなり、当日の段取りを決めておく必要があるかと思います。それは確認できますか。

事務局

日時が4月29日月曜日、9時半から午後3時までになりますので、委員の皆様には9時頃に緑推進委員会のブースに来ていただければと考えております。

駐車時に駐車券が必要となりますので、お車で来る予定の方は事前に事務局の方にご連絡いただければ、駐車券を送らせていただきます。

昨年と同様に、緑推進委員会のOBとかOGの方にも声をかけさせていただきたいと考えております。

今年はメッセージブックをお配りしますが、その他にも昨年度は委員より野鳥のポストカードとクリアファイルを提供いただきまして、非常に市民の方にも喜ばれております。

みどりと花の課からは四季が感じられるような草花の種を提供しました。

その他にも何か景品を用意したいなと考えておりますので、何か市民の方にお配りできるようなものがございましたら、事務局の方にお声掛けいただければ取りに伺わせていただきますので、よろしくお願いいたします。

あと準備費も不足しておりますので、よろしければご厚志をよろしくお願いいたします。

会長

委員にはいつもお世話になっていて申し訳ないですけど、他にも何か景品として準備できるものがあればということです。花や緑と全然関係ないものというのは、あんまり好ましくないかなという気はしますので、花と緑に関係するもので何か準備できるものがあればサポートしていただければと思います。

開催が近づきましたら、メール等で連絡を入れさせていただきますので、ぜひ当日ご協力いただける方はよろしくお願いいたします。

議事4) 提言及び活動報告について

会長

提言及び活動報告について、事務局の方から説明をお願いします。

事務局

資料5をご覧ください。

この提言及び活動報告書につきましては、任期が満了する6月末の委員会で、市長にご同席いただき、会長から市長へお渡しする委員会の成果物となります。

委員会においては、事務局で作成した活動報告の案をご確認していただき、ご審議いただきたいと思いますと考えております。

特に報告書の中で重要な提言の内容や、次期委員会への引継ぎ事項などを重点的にご審議いただきたいと思いますと考えております。

こちらは6月末の最終日の委員会でご承認をいただいた上で、市長にお渡しするスケジュールとなっております。

最終日までのスケジュールをもう一度確認しますと、次の委員会を5月8日に予定しています。最後の委員会が6月24日ですので、最終的な報告書と完成させるのが6月の中旬ごろまでとなります。期間は本日から2ヶ月半ぐらいとなりまして、委員会でご審議できるのは今日と次の5月の2回になると思います。

2回目のご審議後に事務局の方で最終的に報告書案としてまとめまして、みなさまに郵送しますので、事前確認をしていただきたいと思いますと考えております。

6月24日の最後の委員会で皆様に承認をいただいて、報告書を会長より市長に報告していただくということになります。

非常に限られた時間でご審議となりますので、委員会でのご審議の他にも気づいた点、疑問点などございましたら大変お手数ですが、メール等で事務局の方にお知らせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務局

お配りしました資料をご覧ください。

まず最初に第12期委員会の活動方針、2番に活動の成果を記述しています。今委員会の中で実際の活動を行う機関として大きな役割を果たしたみどりのサロン部会についても記載しています。

第12期の活動は第11期の活動と関係が深いと思われることから、第11期の活動内容についても紹介しています。

次に緑推進委員会が関係する活動についての紹介となります。こちらは緑推進委員会が主催する活動と、緑推進委員会から派生した活動として分けて紹介しています。委員会の方で主催した活動には、令和5年11月に第2回を開催した「松戸みどりのフォーラム」、先ほど審議いただきました「メッセージブックの作成」、「緑と花のフェスティバルへの参加」。また、委員会から派生した活動については「七タプロジェクト」、「松戸みどりの再発見ツアー」、「松戸花壇づくりネットワーク」、「里やまボランティア入門講座」、「オープンフォレストin松戸の後援」、「ちば里山アワード大賞受賞記念講演会」となっています。

第13期委員会へ引継ぐ課題は、「メッセージブックについて」「みどりのプラットフォームについて」「みどりのサロン部会について」となっています。

最後の16ページ目に書いてあるものについて参考資料として、資料10までがこちらに追加されます。

会長

緑推進委員会は1期2年となっています。その2年間活動して、それを基に「松戸市のみどりはこうあるべき」というようなことを、活動を踏まえた上で提言する。

諮問事項がある場合、例えば「みどりの基本計画を策定せよ」みたいな諮問事項がある場合は、それに対する答申ということになりますけども、今期は具体的な諮問事項がなかったので、ここで議論してきたことを基にして、松戸市に提言するという形になります。

委員会の最終日に都合が合えば市長が来てくれて、そこで皆さんにそれぞれ発言してもらったりするんですけども、その場で今期の委員会はこういう活動して、今後はこういうふうな緑行政をやってくださいということを提案・提言することになります。

これはその根拠になる資料を作る作業になります。

かつては私も作成に関わりながらやっていたんですけども、最近は私たちの考えを汲み取っていただきつつ事務局に作成していただくという形になっています。

まず私の方から「提言および活動報告」よりも「活動報告および提言」の方が内容の順番とも合うのでいいのではないかと思います。

事務局

第11期は「みどりの基本計画」が諮問となっていましたので、今回とはちょっと違いますが、「委員会の答申・提言および活動報告」という名称で作成しています。

会長

そのあたりは整理が必要かもしれませんね。

それからこの鑑文は、こういう書き方ではなくて、提言として「1. こういうことをすべき」「2. こうこうすべき」という形になっていたと思うので、今ご提示いただいているものでは議論の過程まで書いているので細かすぎる気がします。

大事なものは、何点か提案することですので、「こうすべし」という項目があって、活動について報告という形になるのかなと思います。

それから、今日皆さんに主に見ていただきたいことは、まず活動報告の部分です。第2章の「1/16」となるところが第12期委員会の活動の成果、これがいわゆる活動報告に当たります。

ですので、いろいろありますけども、この2の、活動の成果の部分で、「いや、これは緑推進委員会の活動だ」とか、「関連する活動として報告すべきだ」、「これが抜けてるんじゃないか」、「これは不要じゃないか」というところについて、大まかに見ていただければと思います。

それから、「15/16」にあります「第13期委員会へ引き継ぐ課題」の部分が、今後こうこうすべきという提言に繋がる部分ですので、「メッセージブックをもっとやろう」という話と「プラットフォームをちゃんとやるべき」ということと、「サロン部会」については、ちょっと市に提言するには委員会の中の話のような気もするんですけど、この項目について、「課題や提案すべき項目として、こういったものもいい」というようなことについて、ご意見をいただければと思います。

いかがでしょう。緑推進委員会がやっている活動は含まれてますかね。

委員

最初の鑑文にある提言の内容というところに書かれてることは、提言の書き方になってない気がします。

提言というと最後のページの、第13期へ引き継ぐ課題の部分のような書き方かと思います。

会長

私もそのように思います。

ここでは過程ではなく、大事なのは提言の内容の(1)の②の部分になると思います。

事務局が我々の議論を汲み取って、こういうのを提言したらどうかっていうものになります。

こういう観点が必要だとか、ここがポイントかなというものはありませんか。

報告はやったことをそのまま書くだけですので、「これが抜けてる」、「これ足したほうがいい」ということかと思います。

1ページ目で言うと②の3つ、これを検討した結果、もっとこうすべきみたいなことを提言することでことになるかと思います。

それから15ページの第13期へ引き継ぐ課題がまだ1ページ目の提言と整合性がまだ取れてないですけど、どんな柱で提言していったらいいかっていうことになります。

サロン部会については、何となく市に提言するというか、緑推進委員会の組織のあり方の話なので、委員会として次にこういうことを考えなきゃいけないっていうのはわかりますが、ちょっと違う気はします。

委員

メッセージブックを作ろうしたときにターゲットだとかペルソナという相手がいて、その相手によって「みどりが好きの程度が違う」ということがどこかにあった方がいい。「このメッセージブックを緑推進委員会として出すのは、このペルソナだったからだ。」ということが分かるような記載がほしい。そうすると、今回の報告にあるメッセージブックは一般市民全員に向けたものではないということが分かる。

文字での表現の仕方が出てきませんが、「今回はここにに向けたもの」で「他に向けたものは次回以降に考える」ということを入れてほしいと思います。

会長

今の話しがそのまま提言のように思います。

細かく人とか年齢とかを見て、そういうペルソナごとの「みどりと暮らしの関係」を考えた上でアピールすべしという提言と考えられると思います。

今回のメッセージブックは、実験的試行的なプロジェクトとしてやったという位置付けだと思いますので、藤田隆委員の発言のように「そこを大切に今後メッセージブックを作成すべきだ」という提言はあるかなと思います。

委員

施策として「これから、こうやってやるぞ」という道筋となるような記述が欲しいです。

委員

今回ペルソナを37歳の女性としていますから、具体的なペルソナは第13期で考えると思いますが、次回はどういう方向にいくかということが書かれていてもいいかなと思います。

委員

これはまだ作成途中ではあると思いますが、見出しのつけ方に違和感があります。2-1があったり、2-1-1があったりすると、どこでどう切れるのかなとなってしまう気がします。

事務局

まだ目次がついてないので見づらいと思いますが、目次がつくと階層的になると思います。

委員

大きな2では第12期委員会の活動の成果ですので、成果の中の2-1で審議が出てくるのは違和感があります。審議が成果とはならないと思いますので、見出しのつけ方を変えたり、表現を変えた方がいいのかなと思います。

第12期委員会活動の成果の中の2-3で第11期の審議について書かれています。第12期の活動が第11期からの引継いでいるにしても、第12期委員会の活動と見出しで同列には書かない方がいい。第11期のことは書かないか、入れるのなら前に入れる方がいいと思います。

全体の構成によってになると思いますが、今の案の構成では修正した方がいいと思います。

会長

1は、この委員会が立ち上がったときに、どういう活動をしていこうかっていうのを、みんなで考えたことが書いてあって、2には、活動の経緯と成果にして、「こんなことを審議して、結果これが出てきた」というような書き方にしてもいいと思います。成果って書きちゃうと成果だけから、経緯まで含めて書いたほうが書きやすかったりわかりやすいのであれば、経緯と成果の方がいいかなと思います。

巻末に参考資料がついて何回会議をやったのかも書いてるので、第10期の活動報告とかを見直して構成の参考にしてもいいかもしれないです。

委員

第13期委員会へ引き継ぐ課題で、メッセージブックについて第12期で配布を始めたところですので、第13期では広く市民に認知していただけるような、お声掛けの部分を提言していく必要があるかなと思います。どういう方法があるかっていうことも、検討していく必要があるのではないかなと思いました。

会長

作った次の段階のことになりますかね、ウェブとのリンクとか、いろいろ出てきたと思いますけど、そんなようなことを書いてはどうかということですね。1ページ目の提言でいうと、みどりの

シティプロモーションなのか、みどりの基本計画の理解促進なのか、そのあたりに入りそうです。

委員

第12期でひとつ作りましたが、今後も年に1回のペースで発刊していくということですので、今後への期待についての文章があるといいと思います。

委員

宛名が市長になっていますので、市に対してのメッセージになると思います。

そう考えて緑推進委員会の活動報告を見ていると、主催する活動ももちろん大事ですが、緑推進委員会から派生した活動っていうのがすごく大事で、「セタプロジェクト」「松戸のみどり再発見ツアー」「花壇づくりネットワーク」「里やまボランティア入門講座」「オープンフォレスト」「里山アワード」と続くのですが、民有の「みどり」を市民力でしっかり守って支えていくっていう活動ですね。これに対して「市としてサポートしてほしい」ということを市長に向けて話をした方がいいと思います。市民力ばかりではなく、市でもできることを検討してほしいというメッセージを入れた方がいいと思います。

会長

市長宛ですので、サロン部会のことは細かい話しですし、市長に提言するような話ではないと思います。

委員の発言であったように民有地のみどりの中で、みどりの基本計画ではフォレスト・マネジメントっていう言い方をしていますけど、民有地の緑を点検して台帳を作って評価して、施策を集中するところを決めていく、ということが書いてあるといいですね。

都市緑地法が改正されますが、その中で特別緑地保全地区の買入れを国がサポートするという話や、脱炭素化に資する開発を国が認定して金融支援を行える仕組みを作っていこうとか、国として緑地保全の基本方針を策定しよう等を考えているようです。都市緑地法も節目を迎えていますので、そういうところまで含めて書かないと後手に回ってしまうという懸念があります。

その中で松戸市では特別緑地保全地区を指定したり、民有地の保全や市民活動をちゃんとやっているからこそ「都市緑地法の改正に合わせて更に次に行かなきゃいけない」そういうところを踏まえると書くべきこともあるのかなと思います。ちゃんと書いてあれば次期委員会で審議することになるので大事だと思います。

あと環境省から自然共生サイトとかOECMとかの話がありますし、「緑の市民力に対して行政力はどうなっている」とか、お金の話では森林環境譲与税を活用するみたいな話がありますので、民有地の保全とか、樹林地の維持管理とか、そういったものも含める必要があるかもしれないです。

それに「みどりの愛護」のつどいがありますが、やるだけで終わりなのではなくて、これだけ市民力があるのでそれを後押ししたり、この大きなイベントがその次に繋がっていくようなことを考えないといけない。よくレガシーという言葉を使いますが、全国からいろんな方がいらっしやるし、それは次につなげていかないと駄目だなと思いますので、そういうことを入れるとか。

そんなことを考えていると、第13期に緑推進委員会として引き継ぐべき課題と、市長に「これを

やってください」という提言は切り分けた方が考えやすいかもしれないですね。その辺りの整理が必要なのかなと思います。

委員

政策的なものや制度、補助金など、いろいろあると思いますが、「関係人口」のようなキーワードは入れて欲しい。これから重要なキーワードになってくると思います。「みどりの関係者」と言いますか、「その地域をよくするために関わるいろんな人の輪を作りましょう」みたいな、そういう動きが結構出てきています。

例えば、「農の風景育成」を考えたときに、農業がベースなんですけど「みどり」とか「福祉」など、いろんな人を集めて関係人口を増やして農地を保全していくということに繋げていく、最終的にはそこに落とし込む。その仕組みのキーワードとなるのが「関係人口」という言葉になるので、どこかに入れてもらえるといいのかなと思います。

会長

あまり話しは出来ていないですが、松戸のみどりで農地は魅力的だなと思っています。

生活をしているすぐそばに農があって直売所もあったりとか、ある場所では市民農園も倍率が何倍でとてもニーズを受けきれないけど、松戸の場合はすぐそこに農があるというのは大きな魅力だと思います。「関係人口」の話しが出ましたけど、そういう切り口ではあまり議論できてないですが大事だと思います。

委員

8ページの「メッセージブックの作成」の部分で、なぜこの世代のペルソナを設定したか。2ページで、年代によって意識が違うので子供から高齢者までそれぞれにPRできるような方法を考えるとありますが、その中で今回はこのペルソナになったというイメージだったかと思います。その議論に触れずにメッセージブックの作成になってしまっているので、ペルソナ設定について一文入れると次に繋がっていくかなと思いました。

会長

今日はいきなりこれが出てきて15ページを一気に読むのは難しいと思います。

先ほど冒頭に話しがありましたが、この後、議論する機会が5月の推進委員会と6月の推進委員会、2回あります。実態として6月は、市長に提言するということが大きくなっていますので、あまり変更はできません。ですので、次の5月の委員会が、非常に重要な委員会での審議の機会になると思います。

委員会での審議のみでは作り上げるのが難しいので、前後に意見を出す機会を設けることになると思いますが、そのあたりは事務局と相談しながら進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

事務局

今スケジュールの話しがありましたが、5月にある次の緑推進委員会の前の段階で、その2週間前

くらいになると思いますが、もう一度今日の意見と、これから皆さんこれを持ち帰っていただいた後、気づいた部分のご意見をメール等でいただいた上で、次の委員会開催の1週間前までには、次の案をお送りして見ていただいた上で、5月の委員会に臨みたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会長

はい。提言及び活動報告については、そのようにさせていただきます。

議事5) 第12回オープンフォレストin松戸の後援について

会長

事務局から説明をお願いします。

事務局

資料6がオープンフォレストのチラシとなっております。

今年も5月11日土曜日から19日日曜日の9日間、市内18ヶ所の森で開催を予定しております。

オープンフォレスト実行委員会と松戸市の共催となっておりまして、現在、公益財団法人山科鳥類研究所と公益財団法人松戸みどりと花の基金に後援をいただいております。

今日は、緑推進委員会においても後援をお願いしたいということで、その説明につきましては藤田隆委員をお願いしたいと思います。

委員

オープンフォレスト実行委員の事務局として説明をいたします。

チラシは4ページものになっています。表のところのデザインは、雰囲気や踏襲しながら多少の変更をして仕上げています。中の見開きにはマップと各森でやっていることを分かりやすいように大きくレイアウトしています。

5月の11日から19日までが公開期間となっておりますが、平日は幼稚園、保育園、小学校、に行っている子供たちは来ないだろうということで、土日に集中させています。

集客は全体を合わせると2000人ぐらい来るので、それぞれの森に1日あたり40人から60人ぐらいの来客がある。

マップを見ていただくと八柱、常盤平、五香、松飛台、東松戸、などの駅に近い住宅地の中に1ha前後の森が存在しています。住宅地の中ではありますが、生物多様性の観点では、まだ「たぬき」なんかの動物も生息しております。森に来ていただければボランティアが森を案内してくれたりクラフトも出来ます。

このような森の楽しみを市民に広げる催しになっていきますので、緑推進委員会の後援をいただければと思います。

会長

今回は18箇所の森を公開するイベントになりまして、こちらの後援をしてほしいということです。緑推進委員会では毎回後援させていただいていますが、具体的に何をするかというと、緑推進委員会の皆さんは周りの方にお知らせしたり、勧めてみたり、実際に森へ足を運んでみたり、そういったことをしていただければと思います。

委員

このオープンフォレストの宣伝は緑と花のフェスティバルでもチラシを配布していきまして、お渡しする時に、地主さんやボランティアさんの思いや、維持管理の話をするとう興味を持ってくれる方も結構います。元々ある程度興味のある人がフェスティバルに遊びに来てくれるので、そこで話しをすると面白いです。

会長

チラシもまつど森ずかんも昔と比べると大分雰囲気が変わりまして、さっき話しのあった関係人口じゃないですけど、いろんなスキルを持ってる人たちが関わってくださることで、こういった試みもすごく魅力的な発信ができる。これはとても大事な事かなと思います。

では、オープンフォレストについては後援してよろしいでしょうか。

——承認——

ありがとうございました。緑推進委員会はオープンフォレストの後援をすることになりますので、よろしくお願いします。

議事6) みらいフェスタ参加見送りについて

会長

続きまして議事の6、みらいフェスタ参加見送りについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

今年も3月末に松戸中央公園で行われるみらいフェスタへの参加の打診がございました。

簡単に説明させていただきますと、みらいフェスタは一昨年から参加している、みらいフェスタ実行委員会とまつど市民活動サポートセンターが主催しているイベントでございます。

こちらのイベントは、市民活動やNPOについて市民に知ってもらう。住みやすいみらいのまちづくり。1団体ではできないことを協力し合うことで実現する。というコンセプトで開催しておりますので、みどりのサロン部会でこちらに参加することにしました。

その経緯としましては、第11期で開催を予定していたみどりの市民フォーラムがコロナ禍で延期したこと、こちらのイベントのコンセプトとみどりのプラットフォームの考え方が一致することによって参加しております。

一番の目的でありました、他の団体との交流については、なかなかその場で関係を作ることが難しいなと思いました。

イベントの出展は、里やま応援団に協力してもらってクラフトをしたり、花壇の花の植え替えなどをしましたが、すごく好評でしたので「みどり」については市民に受け入れてもらえる力があることがわかりました。

今年も参加について打診がありましたが、令和5年の11月に金ケ作育苗圃で第2回となりますみどりの市民フォーラムを行いまして、みどりが持つ魅力の発信や、他の団体の人たちと交流をするというところについては、ある程度目的として達成されていますので参加目的がなくなったということで、サロン部会の方で不参加の決定をしております。

会長

何か質問はありますか。

これは何かを決めるのではなく、報告となります。

議事7) その他

会長

何かありますか。

ないようですので、今回の委員会は以上となります。

連絡事項

事務局

第13期緑推進委員会の市民委員募集について

第13期の諮問事項（予定）：樹林地保全策拡充のための樹林地評価

応募方法：1,000文字程度の作文提出

作文テーマ：松戸に残したいみどり

応募締切：4月22日の消印まで有効

公園緑地課

都市公園制度制定150周年記念公園施設の登録について

日時：令和6年1月29日

登録施設：自然観察舎・自然生態園（21世紀の森と広場）

登録規模：全国——165施設/113,800箇所

千葉県——7施設/ 6,300箇所

「みどりの愛護」のつどいの開催について

開催時期：令和7年春（4月～6月）のうち1日

会場：森のホール21

21世紀の森と広場

主催：国土交通省、千葉県、松戸市

行事内容：「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰、千葉県知事表彰、記念植樹、等

行事参加者：全国みどりの愛護団体関係者、関係自治体等 約1,000～1,500人（予定）

事務局

第10回緑推進委員会について

日程：5月8日（水）

時間：10時～11時30分

その他：委員会後に第13期委員会の市民委員選考会を開催予定

——閉会——